

令和 6 年度

運営に関する計画（最終評価）

**大阪市立今里幼稚園
令和 7 年 3 月**

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本園は地域との関わりが盛んであり、温かく見守っていただいている。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策の制限が緩和され、これまでの活動を見直しながら、徐々に様々な活動を実施していくことができた。しかし、まだ再開できていない行事や活動もあり、今年度も活動内容を検討、実施していくことができるよう取り組んでいきたい。
- 園の立地条件から、園庭で存分に体を動かして遊ぶことが難しい。このことから、園内の環境を工夫しながら、子どもたちが体を存分に動かして遊べるような活動を今年度も考えていきたい。
- 明るく、素直な子どもたちが多い。2クラスの小規模園であり、クラス替えもないため、互いの気持ちや、考えなどがなんとなく伝わっている。その良さも生かしながら、自分の思いや考えを伝え、相手の思いを聞くことの大切さや、協力したり、一緒に活動したりすることの楽しさ、コミュニケーション能力や思いやりの気持ちを育んでいきたい。
- かいたり、つくったりすることを楽しむ子どもが多いが、中にはどうしたらしいのかと悩んだり、汚れることを嫌がったりして取り組むことに消極的な子どももいる。それぞれが、自分の思いを出して、かいたりつくったりすることを楽しめる活動内容を考えていきたい。

中期目標

【 安全・安心な教育の推進 】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」という項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

【 未来を切り拓く学力・体力の向上 】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割

合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートにおける「幼稚園は地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

- 本年度の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 本年度の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊ぶようになった」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 本年度の保護者アンケートで「幼稚園は地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

今年度は、コロナ禍で参加が難しかった地域行事への参加や、今里小学校との交流も増やすことができた。地域交流を通して、子どもが地域の一員であることを感じる機会となった。また、保護者向けの安全啓発や防犯指導を行い、参加してもらいやすいように日程を考え、計画的に実施した。多くの保護者が参加し、安全についての意識を高めることができた。

全てにおいて、昨年度の改善点を教職員一人一人が意識しながらも、子どもの実態に即した保育を考え、それを全教職員で共通理解して取り組むことができた。その結果、保護者アンケートでは昨年度よりも多く肯定的な評価を得ることにつながった。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の90%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1-6 安全教育の推進】</p> <p>「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、計画的に避難訓練を行い、災害時等での安全な身の守り方についての意識がもてるようする。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間計画を立て、様々な災害時の避難訓練を年10回以上行う。 年3回以上、地域や保護者と連携した防災の取組や保護者啓発を行う。 	
<p>取組内容②【施策2-1 道徳教育の推進】</p> <p>栽培活動や小動物の世話を通して子どもたちに命の大切さを知らせ、思いやりの心を育む。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して栽培物や小動物の世話ができるように、日々の保育に取り入れる。 学期に1回以上、園内の環境を見直し再構成する。 	
<p>取組内容③【施策2-4 インクルーシブ教育の推進】</p> <p>一人一人の子どもに寄り添ったインクルーシブ教育を実施する。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期に1回以上、園内委員会を実施し、子どもの実態把握や支援方法を共通理解できるように話し合いを行う。 年2回以上、関係機関との連携を図る。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>○3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は自分の命や他の命を守ろうとする安全教育の推進に努めている」の項目について「そう思う」と回答した保護者の割合は100%となった。</p> <p>①・様々な想定のもと段階を踏んで避難訓練を実施し、安全への意識が高まるようにした。また、避難訓練に対する恐怖心を抱かないように配慮しながら行った。</p> <p>【火災時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月…4歳児は非常ベルの音を聞いて、5歳児の避難する様子を見た。5歳児は昨年の経験を生かし、緊急時の避難の仕方を再確認してから参加した。 5月…4歳児は4月の避難訓練を振り返り、初めて担任と一緒に避難した。5歳児は当日、雨が降っていたため、出火場所や避難誘導の仕方を変更して、放送（指示）をよく聞き避難する大切さも知らせた。 7月…『おはしも』の約束を意識し、火災が起きた時にはどのように行動すればよいか確認をしてから行った。 	

- ・ 10月…避難時にどのように行動すればよいのか予め確認しておき、子どもに実施時間を知らせず行った。
- ・ 12月…子どもに実施時間や避難時にどのように行動すればよいのかの確認はせずに行った。
- ・ 2月…子どもにも担任にも実施時間を伝えず、非常ベルを鳴らした。子どもには安全に気を付け行動できるように、教職員には適切に避難誘導ができるように実施した。

【地震時】

- ・ 6月…引き渡し訓練を行い、子どもには小学校へ2次避難することを、保護者には緊急時の連絡方法や引き渡し方を知らせることができた。また、避難の仕方を共通理解し、教職員の役割や動きを確認することもできた。
- ・ 9月…地震時に頭を守ることの大切さや防災頭巾の被り方を知らせてから行った。また、津波が発生したことを想定し、屋上への2次避難も行った。
- ・ 1月…阪神淡路大震災や能登半島沖地震の話をし、地震を感じられるように話をした。

【不審者侵入】

- ・ 11月…不審者が玄関から侵入してきた想定で、2階遊戯室に避難を行った。

【その他（関係機関による安全指導など）】

- ・ 安全パトロールの方による安全指導を6月に実施した。信号の見方や青パトについての指導を受け、子どもたちは、地域で見守られている意識をもつことができた。2月には5歳児が、新一年生における安全指導を受け、進学に向けて、安全に上下校できるように話をしていただいた。
- ・ 1学期の終業式には東成警察署に防犯指導を依頼して、保護者も一緒に話を聞いてもらい、防犯についての意識を高めることができた。
- ・ 9月には東成消防署に行き、なかなか入ることができない施設内の見学や消防士の訓練の様子を見せていただいた。消防車の説明や乗車体験もさせてもらい、防災への意識を高めた。
- ・ 3学期の始業式には、保護者対象に地域出前セミナーによる性被害にあわないための防犯指導をしていただいた。幼児期にできることとして、絵本も活用しながら、性に関する話をオープンにできるように関わってほしいとの話を聞き、保護者も関心をもって聞いたり、質問されたりしていた。

このような結果と分析から、進捗状況をAとした。

○ 3学期末の保護者アンケートで「自他を思いやる心が育っていますか」の項目について「そういう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

- ②・園内では、様々な小動物を飼育している。子どもたちは普段から世話を通して、観察しており、興味をもって関わる姿が見られた。絵本や図鑑などを置き、その小動物に興味や関心をもち、特性や成長に気付くことができるよう環境を構成した。5月、6月にはアオムシからサナギになり、羽化してチョウになる成長過程を見ることができた。また、長年飼育していたオカメインコのちゅーちゃんの死を通して、大切な命は1つしかないことを感じることにつながった。秋から冬にかけて、カブトムシの幼虫をいただき、5歳児が中心になり育てていたが、修了が近づき、4歳児が引き継いで大切に育てる気持ちがより高まっている。
- ・保護者と一緒に、5月には、子どもが自分で選んだ夏野菜の苗植えを、11月にはチューリップの球根植えを行った。保護者と一緒に生長を見守り、共に喜ぶ姿が見られた。植木鉢に雑草が生え、自分たちで抜いたり、土が乾いて水やりをしたり、丁寧に育てる姿が見られた。

・季節ごとに、種まきや苗植えを行い、花が実を付け種ができたり、野菜や果物を収穫したりすることができた。収穫した物を行事のお供え物として供えたり、収穫物の絵をかいたりして、製作に生かすなど、収穫の経験と共に、様々な活動につなげることができた。このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

③・4月と7月、12月に園内委員会を開き、日々の子どもたちの実態を知り支援の方法について全職員が共通理解した。日々の子どもたちの育ちを振り返り、効果的な手立てを話し合ったり個人懇談会での保護者の話を共有したりした。また、一人一人に応じた効果的な手立てを見出すことができるよう、毎日の子どもの様子や変容などをこまめに伝え合い、全職員で支援方法を考えていった。

- ・10月の巡回相談では、学んだ手立てを教職員で共通理解し多面的に子どもを見るにつながった。
- ・関係諸機関との連携や療育施設の様子、過ごし方の見学に行った。療育施設の指導員と意見交換することで、降園後の子どもの様子を知り幼稚園での対応に生かすことができた。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

次年度への改善点

- ①・教職員一人一人が災害に対する意識を高めるとともに、その時に応じた安全な避難誘導の仕方について考え、行動できるようにしていく。
- ②・子どもたちが小動物や栽培物への興味・関心をもち続けられるように、環境を工夫したり、栽培計画を再確認したりする。また、教師が積極的に保育や環境づくりを工夫して言葉かけをしながら、子どもたちと一緒に活動へと取り組んでいく。
- ③・園内委員会を定期的に実施し教職員間での共通理解や連携につなげる。
 - ・積極的に研修に参加し、支援方法の手立てを学び続けていきたい。

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊んでいる」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の85%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の85%以上にする。</p> <p>○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策3 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】</p> <p>就学前教育カリキュラムを活用し、環境や教育的意図を持った働きかけについて教職員間で検討したり、保護者に教育内容を分かりやすく発信したりする。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育カリキュラムを活用し、日々の保育の組み立てを行う。 ・学期に1回、保育内容や子どもの様子をまとめ、保護者に知らせる。 	
<p>取組内容②【施策4-1 言語活動・理数教育の充実】</p> <p>子どもがのびのびと表現することを楽しめるように保育内容を工夫する。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上、実践記録検討会や園内研究会を行う。 ・学期に5回以上、かいたりつくつたりする活動を取り入れる。 ・子どもの実態や時期に合わせて、学期に1回以上保育環境の見直しを行う。 	
<p>取組内容③【施策5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>体を動かして遊ぶ楽しさを感じられる保育を工夫する。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上、保育環境を見直し、体を存分に動かせる活動を工夫する。 	
<p>取組内容④【施策5-2 健康教育・食育の推進】</p> <p>自分の健康に関心をもつことのできる子どもを育てる。</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、健康に関する保健指導を実施する。 ・年10回以上、保健指導の内容について、保護者へ啓発する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育カリキュラムを活用し日案や週案を立て、日々の保育活動の中で知徳体を意識して保育を行った。保育の振り返りでは、他の学年のカリキュラムやラーニングデザインも見ながら、教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成などについて考え、次の日からの保育に生かした。 ・毎日の降園連絡の際に、その日の活動内容やねらい、子どもの様子などを保護者に伝えた。また、学期ごとの活動内容の写真掲示や園長室によりを通して、子どもの遊びが学びにつながっていることを知徳体に分け、子どもの育ちや教師の教育的意図をもった働きかけについても知らせた。 	

- ・6月に実施した学級懇談会では、保護者から子どもが成長したと感じるところを聞いたり、保育中の子どもの様子を知らせたりすることで、子どもの実態をより深く知ることができた。
- ・大阪市立幼稚園音楽会や地域行事ウインターフェスタへの参加では、友達と一緒に歌を歌うことを楽しんでいる姿を見てもらった。また、保育参観では、普段の遊びを通して幼稚園教育の理解を得られるようにしたり、子どもたちの成長を感じられる大切な機会として保育内容を考えたりした。
- ・ホームページを活用し、園の様子や教育内容を広く地域や保護者に伝えた。3学期からは、ふれあいデー(未就園児活動)実施前に、予定している活動内容をホームページで知らせ、周知を図った。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

○3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は、様々な活動を通して友達と思いを出し合いながら、一緒に活動を楽しめるような指導をしている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

- ②・1学期は一人一人が存分に遊びを楽しみ、季節に応じた教材や活動を通して、経験を広げ、少しずつ友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようになつた。2学期には、友達と思いや考えを伝え合いながら、1つのものをつくり上げたり、自分たちで遊びを進めたりするようになつた。3学期には、生活発表会で行う劇遊びに必要なものを考え、みんなで話し合いながらつくつて遊ぶ姿が見られた。自分たちでつくったものを使って遊ぶことで、満足感を味わうことができた。
- ・10月に行った第2ブロック研究保育では、研究主題をもとに、4歳児は様々な素材や秋の自然物で製作をしたり、遊戯室全体を使って柄の長い筆やローラーを使いながら存分に絵の具を使って遊ぶことを楽しんだりした。5歳児は、4月から継続して遊んでいたビー玉転がしのコースづくりや、シートに絵をかいてOHPで映しながらお話をつくり、遊ぶことを楽しんだ。学年による違いはあるものの、友達と思いや考えを伝え合ったり、協力したりしながら、目的をもってかいたり、つくったりする姿が見られた。
- ・6月、9月、10月、1月にはOJT研修を実施し、クラスの子どもの実態を踏まえて保育指導案を作成し、研究保育を行い、教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成について指導を受けた。
- ・1月のふれあいデー(未就園児活動)では、未就園児と一緒に紙皿とペットボトルのキャップを使ってコマづくりを行つた。未就園児につくり方を知らせたり、絵をかいたりすることを楽しむ姿が見られた。
- ・“子どもが表現することを楽しんでいる姿”の実践記録について検討会を行い、子どもの姿から内面等を探り、教職員の資質向上につなげた。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

○3学期末の保護者アンケートで「進んで体を動かして遊んでいる」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。

- ③・4月から異年齢で集会遊びを行い、ふれあい遊びで体を動かして遊ぶことを楽しんだ。保育参観では、体操や表現遊びをしている姿を保護者に見てもらつた。
- ・遊戯室でも様々な動きを楽しめるように、トランポリンや平均台などの運動遊具を使ったサーキット遊びを行い、存分に体を動かして遊べるように工夫した。また、雨の日も遊戯室を活用し、かけっこやリレー、ボール遊び、しっぽ取り、だるまさんがころんだなど、友達と一緒に体を動かすことを楽しむことができた。
- ・鶴見緑地公園の園外保育では、自然の中を散策したり、山に登つたりして楽しむことができた。
- ・親子ふれあいレクリエーションでは、5歳児4歳児それぞれが保護者と一緒に体を動かす遊びを楽しむことができた。

- ・運動会では、4歳児は海の生き物になって表現遊びを行った。5歳児は縄跳びやスキップボールなどを使い、魔法使いになるための修行を遊びに取り入れたり、パラバルーンに取り組んだりした。4歳児は5歳児がしていた遊びに憧れをもち、運動会後には異年齢と一緒に運動会ごっこを楽しんだ。
- ・今里小学校の運動場を借りて凧あげを行った。風を感じながら凧をあげ、思い切り体を動かして楽しむことができた。
- ・冬の寒い時期にも体操やダンスなど、体を動かす楽しさが味わえる活動を各クラスや誕生会などで実施した。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

○3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について「そう思う」と回答する保護者の割合は100%となった。

- ④・4月は発育測定の受け方や健康診断について、5月は手洗いと歯みがき（4歳児）と三色栄養（5歳児）について、6月は熱中症の予防について、7月は三色栄養（4歳児）と生活習慣（5歳児）について、9月は朝ごはんの役割について、10月は自分の気持ちと相手の気持ちについて、11月は歯の大切さについて、12月は睡眠について、1月は病気の予防について、2月は手洗いチェックの保健指導を実施した。子どもや保護者との関わりや、担任との情報共有から実態を把握し、指導内容を設定した。子どもが楽しんで参加し、興味をもつことができるよう視覚的教材を作成したり、クイズを取り入れたり内容を工夫した。
- ・指導後に、保育室に保健指導と関連した絵本を置いたり、声掛けをしたり、子どもの意識が継続するよう担任と連携した。
- ・5月に歯科衛生士の方に来ていただき、全園児を対象に歯みがき指導を実施した。歯ブラシの持ち方や正しい歯のみがき方、おやつを食べるときに注意すること等について教えていただき、保護者も参観した。11月には東成区歯科医師会より歯科医師と歯科衛生士の方に来ていただき、5歳児を対象に歯垢染め出しを実施した。保護者も参加し、仕上げみがきをしている様子を見て歯科衛生士の方にアドバイスをもらったり、フロスの使い方を教えてもらったりした。みがき残しがある箇所を親子で一緒に確認するよい機会となった。
- ・毎月のほけんよりに保健指導について掲載した。また、1学期の保護者会ではパワーポイントを用いて、2学期は個人懇談の期間に2学期の保健指導についてまとめた掲示物を作成し、実施した内容を保護者に詳しく知らせた。指導時の様子や教材の写真を保護者に見てもらうことで、幼稚園での取組を知らせ、家庭とも連携できるよう啓発した。
- ・6月4日から10日の歯と口の健康週間に合わせた歯みがきカレンダー、夏休みと冬休みには健康カレンダーを配布した。夏休みの健康カレンダーでは、「手洗いうがい」「早寝早起き」「バランスのよい食事をする」「歯みがき」の4つの項目から目標をひとつ選んで取り組むようにした。冬休みの健康カレンダーでは、冬休みを3つ期間に分け、「歯みがき」「バランスのよい食事をする」「早寝早起き」の3つの項目すべてに取り組むようにした。保護者記入欄に子どもの様子を詳しく記入してくださる保護者も多く、また「自分から進んでいた」「促したらした」「したがらなかつた」にチェックを入れる欄を設けたことでより具体的に家庭での様子を知ることができた。

このような結果と分析から、進捗状況をAとした。

次年度への改善点

- ①・降園時やホームページを活用し、子どもたちの日々の様子や育ちに加え、教師の教育的意図をもった働きかけ（ねらい）について保護者に知らせ、自園の教育への理解を促していく。
- ②・今後も季節やクラスの実態に合う活動ができるように教材研究を行い、子どもたちがかいたり、つくったりすることを楽しめるような教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成を検討する。
- ③・子どもたちが体を存分に動かすことを楽しめるように園内の環境を見直し、活動内容を工

工夫していく。

- ④
 - ・幼稚園での取組を発信するため、ホームページを活用する。
 - ・幼稚園と家庭が連携して取り組むことができるよう、保護者啓発を工夫する。

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○本年度の保護者アンケートで「幼稚園は地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合の85%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容③【施策 9-1 教育コミュニティづくりの推進】 地域交流を通して、いろいろな人と関わり、親しみの気持ちをもつ。	B
指標 ・活動内容を検討しながら、年間10回以上様々な形で地域との交流を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>○3学期末の保護者アンケートで「幼稚園は地域や小学校との交流や連携に努めている」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答した保護者の割合は100%となった。</p> <p>①・月1回『おはなし会』を、8月には絵本ボランティアの方による読み聞かせをしていただいた。また、5月には、5歳児が東成図書館に行き、図書館の利用方法について教えていただけたり、たくさんの本の中から自分の好きな本を選んで読んだり、読み聞かせをしていただき、絵本に親しむことができた。</p> <p>・子どもたちの挨拶への意識を高められるように、更生保護女性会の方が月2回（第1・第3水曜日）、登園時の子どもたちに挨拶をしてくださった。また、11月にはチンドンバandoの方々が、挨拶を大切にするふれあい運動の一環として、楽しい演奏や歌などを披露してくださいました。</p> <p>・4月には5歳児が南中本公園に、5月に5歳児、4歳児が西之口公園へ園外散歩にでかけた。地域の公園を活用し幼稚園にはない遊具で遊び、交通ルールを知らせることもできた。</p> <p>・6月には公民館で行われているふれあいサークルに5歳児が参加した。12月には、今里小学校で行われたウインターフェスタに全園児が参加した。お餅つきの様子を見せていただけたり、地域の方々の前で歌を披露して拍手をもらったりして、地域の一員であることを意識できる機会となった。</p> <p>・6月より月1回、ふれあいデー（未就園児活動）が始まり、異年齢の友達と一緒に保育室で遊んだり、集会で体操をしたりして、小さい友達にどのように関わればよいか考えながら遊んでいる姿が見られた。</p> <p>・職場体験の相生中学校の生徒と関わることができた。中学生と関わる機会が少ない子どもも多いため、子どもたちにとっても良い経験となった。</p> <p>・12月には西之口公園清掃を行い、火ばさみを使ってゴミや落ち葉を拾い、自分たちの手で公園をきれいにする気持ち良さを味わうことができた。</p> <p><今里小学校との交流></p> <p>・5歳児が今里小学校のプールで遊ばせていただいた。12月には運動場をお借りし、凧あげを行った。幼稚園よりも大きな深いプールや校庭で遊ぶ経験は、子どもたちにとって良い経験となった。</p> <p>・2月には1年生の給食の様子を見学させていただいた。見学だけでなく、聞きたいこと、知りたいことを質問し、答えてもらうことができ、進学や給食への期待が高まった。</p>	

- ・3月には今里小学校1年生との授業体験を計画している。進学を控え、充実した時間となるように取り組んでいきたい。

このような結果と分析から、進捗状況をBとした。

次年度への改善点

- ①・絵本により親しめるように、保育期間中に絵本ボランティアの方々に来ていただける日程を調整する。
- ・未就園児のふれあいデーに参加する子どもと保護者の数が昨年度より少なく、園児数も減少傾向にある。本園の教育内容に興味をもってもらい、園児数が増加につながるように、発信方法を工夫していきたい。
- ・引き続き、今里小学校と子ども同士の交流がもてるよう計画し、小学校への興味や関心、期待を高めていく。